

成熟したシビルエンジニア活性化小委員会 シンポジウム  
アンケート集計結果（平成 22 年 7 月 27 日）

回答総数は 43 票

Q1. 「新しい公共」について今回のシンポジウムで理解が深まりましたか？ (n=43)

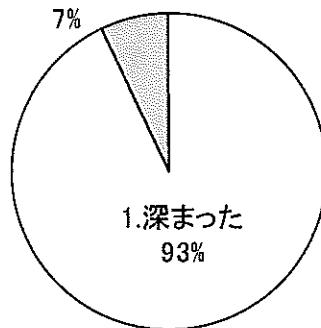
- 1. 深まった
- 2. 深まらなかった

2.深まらなかった

7%

1.深まったく

93%



- ・ 参加された方の 9 割以上が「理解が深かった」と回答している。

Q2. 実体的な「新しい公共」との係わり・関心についてお尋ねします。 (n=43)

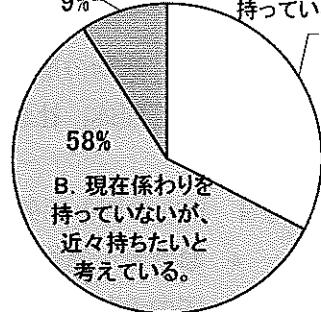
- A. 現在係わりを持っている。
- B. 現在係わりを持っていないが、  
近々持ちたいと考えている。
- C. 現在係わりを持っておらず、将来も無い。

C. 現在係わりを持って  
おらず、将来も無い。

9%

A. 現在係わりを  
持っている

33%



- ・ 現在、「新しい公共」に関わりを持っていると答えた方は全体の 1 / 3 、近々持  
ちたいと考えている方は約 6 割で、両者を合わせると約 9 割を占めている。

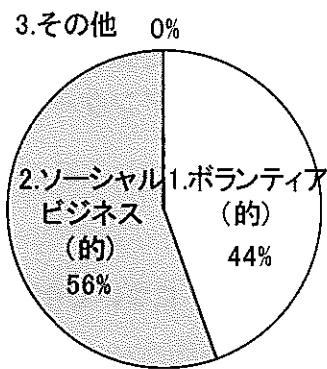
Q3. 現在係わりを持っている方 (Q2 で A とされた方) への質問

3.1 どのような分野ですか？ (n=13)

- ・ 橋梁・建材・新設・補修
- ・ P F I
- ・ これまでの社会資本の維持管理のた  
めの公共化→すでに定着しているヨ  
ーロッパの現状を学ぶ
- ・ 民による公共事業の推進
- ・ 防災
- ・ 社会基盤整備技術の継承
- ・ 公共インフラ他
- ・ 地域におけるまちづくり
- ・ P P P 、地元の国際交流会
- ・ 行政の委員会への参加、監査の支援  
　　－土木工学の分野
- ・ 河川分野のネットワーク運営
- ・ 建設技術（行政も含）
- ・ 大学教育と地域還元

### 3.2 活動の性格は？ (n=9)

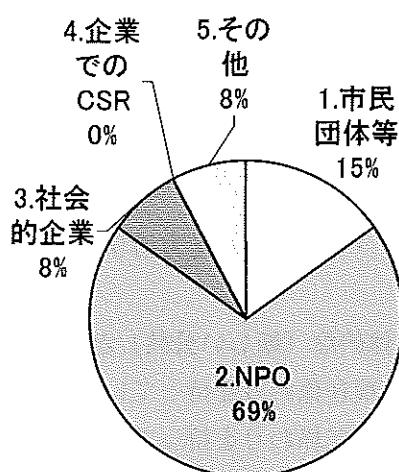
1. ボランティア（的）
2. ソーシャルビジネス（的）
3. その他



- ・ 現在、「新しい公共」に関わりを持っていると答えた方の活動の性格は、ボランティア的、ソーシャルビジネス的それぞれ、半数ずつであった。

### 3.3 活動の形態は？ (n=13)

1. 市民団体等
2. NPO
3. 社会的企業
4. 企業での CSR
5. その他



- ・ 活動の形態はNPOが最も多く、全体の約7割を占めている。このほか、市民団体、社会的企業と続く。

### 3.4 現在の悩みは何でしょうか (n=11)

- 事業者～運営者として
  - ・ 国内の仕事が非常に少なく、将来性、及び魅力がなくなってきたているのではと思う。
  - ・ 官の主導からの脱却
  - ・ 事業受託の機会が少ない
  - ・ 顧客の拡大、事業の開発
  - ・ 運転資金、人材不足
  - ・ 参加の機会が少ない
  - ・ 趣意の拡大不足
- 一参加者として
  - ・ NPOが立ち上がったばかりで悩みまでいかない
  - ・ 積極的に活動したい意思は強いが大義に欠ける。→ビジネスでもない社会貢献もなぐ中途半端。
  - ・ 市民団体あるいは個人としてまちづくりに参加する土木技術者が見当たらない。
  - ・ 事業の未拡大

### 3.5 特に土木学会への期待はありませんか？（n=10）

- ・ 海外に日本の土木の技術力をアピールしたり、若い世代が魅力を感じられるような土木を国内でもアピールして頂きたい。
- ・ フィービジネスとしての考え方との整理が必要ではないでしょうか。
- ・ これから課題を見つけていきたい
- ・ 財政難における公共事業の有り方
- ・ 実践的な中間支援組織機能の具備（地域経営面で）
- ・ NPO の活性化のため中間支援組織の立ち上げ充実を期待します。
- ・ NPO 活動の支援を充実して欲しい
- ・ NPO 等 “新たな公” への中間支援組織的存在でいてほしい。
- ・ 第2回のイベント、本日公表内容の出版
- ・ 民間と行政が協働する制度設計及び有資格者の認定・・等

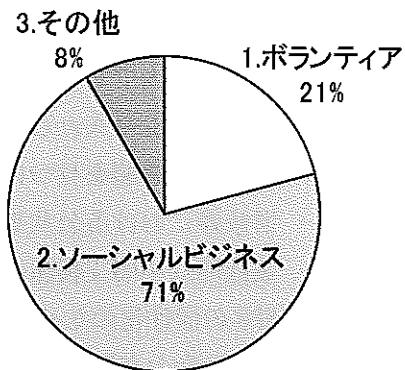
### 4. 現在係わりを持っていないが、近々持ちたいと考えている方（Q2でBとされた方）への質問

#### 4.1 どのような分野に興味がありますか？（n=20）

- ・ 地域の防災活動など。
- ・ 土木学会の中のマネジメント分野の拡充
- ・ 環境分野・エネルギー分野
- ・ 環境分野
- ・ 建設
- ・ インフラの維持・管理
- ・ 維持・管理
- ・ 歴史的建造物の維持管理
- ・ 社会資本のメンテナンス
- ・ エリアマネジメント
- ・ まちづくり
- ・ 「新しい公共」への関わり
- ・ 地域公共交通
- ・ メンテをビジネスモデルとして成り立たせること。
- ・ 橋梁点検・維持（今は仕事、いずれは地域ボランティアに移行するか？）
- ・ 社会資本の維持管理分野
- ・ 道路の維持管理部門
- ・ 街の活性化の分野
- ・ まちづくり

#### 4.2 どのような性格の活動をお考えですか？(n=24)

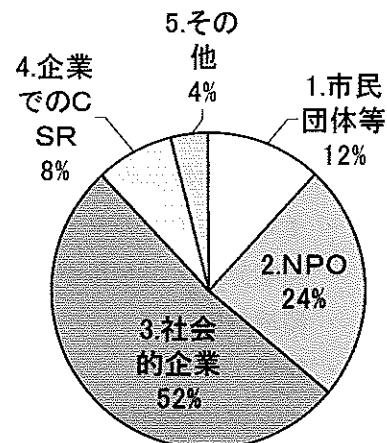
1. ボランティア（的）
2. ソーシャルビジネス（的）
3. その他



- ・今後活動に関わりたいと考えている方の7割は、ソーシャルビジネスの性格を持つ活動を考えている。このほか、ボランティアを考えている方が2割程度であった。

#### 4.3 どのような活動の形態をお考えですか？(n=25)

1. 市民団体等
2. NPO
3. 社会的企業
4. 企業でのCSR
5. その他



- ・今後活動に関わりたいと考えている方の半分程度は、社会的企業の形態を考えている。このほか、NPOボランティアが1／4程度であった。

#### 4.4 現在の悩みは何でしょうか(n=5)

- ・事業者～運営予定者として
- ・運営費用、事業の継続
- ・官民連携（ハードルがある）についてまず、前線の行政担当者の理解が少ない。
- ・一参加予定者として
- ・高齢化
- ・資金と対象物件
- ・参加の場の情報の入手方法

#### 4.5 特に土木学会への期待はありませんか？(n=8)

- ・更なる活性化を期待している
- ・中間支援組織立ち上げの支援
- ・まだよく分かりません

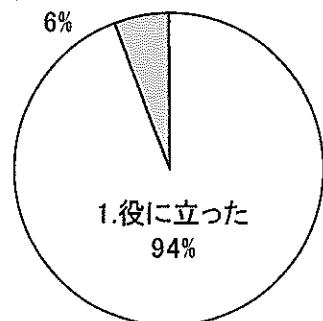
- ・ 「新しい公共」とそれを担う土木技術者に関する情報発信とフォロー
- ・ N P Oも大事であるが、技術的判断を伴う土木構造物のメンテはN P Oではなく民間資金（P F I） 嘉利を求めたやり方でよい。
- ・ 情報の提供
- ・ （行政の方を含めて）今日のような発表会、講習会、シンポジウムを継続してほしい。
- ・ 若い人材の確保→きびしいがやるべきこと

##### 5. 今回のシンポジウム全般について (n=42)

役に立った

余り役に立たなかった（注文点； ）

##### 2.あまり役立たなかった

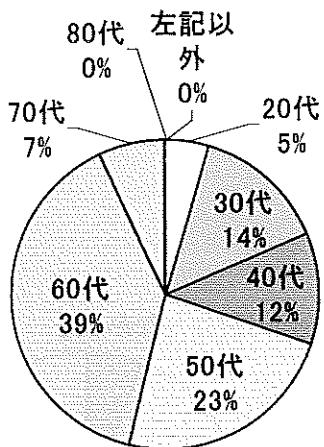


- ・ 今回のシンポジウム全般について、9割以上の方が「役に立った」と回答されている。

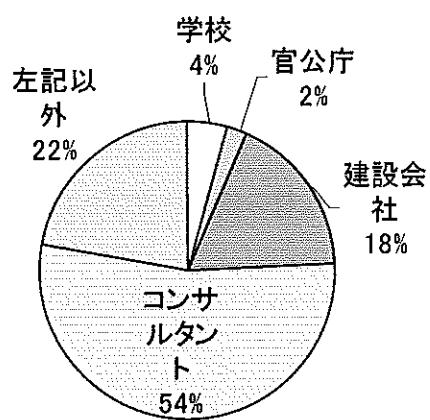
##### 余り役に立たなかった（注文点）自由回答

- ・ N P O活動事例は大変参考になった。
- ・ 今すぐに役立つというものではないので！将来的には分かりません。
- ・ 新しい公共についてもう少しあわかりやすい説明がほしかった。
- ・ まちづくり・地域づくりのN P Oとインフラ維持管理のP P Pは対象・スコープが異なり議論が見えにくかった。
- ・ 若い人がインセンティブが働く取り組み（今日は高齢者のN P Oの人が多くたが）→古い橋のメンテに若い人たちは中々興味をもたない。
- ・ もっと論点を絞り込んだ意見交換を望む
- ・ 「成熟」の定義、年齢的なシニア？統合力を備えたコンプリヘンシブ。ソーシャルビジネスをシニアの活動の場と考えることが間違っていると思います。社会はもっと大きな役目を Civil Engineer に期待しています。
- ・ 新しい情報の入手が出来た

年齢 (n=43)



勤務先 (n=43)



- 参加者の属性のうち、年代では60代が最も多く約4割。次いで50代が約1／4。50代以上の参加者が、全体の7割を占めた。
- また、業種ではコンサルタントが半数程度、建設会社が2割弱であった。

専門分野 (n=32)

- PC橋梁・道路舗装
- 河川
- 環境コンサルタント
- 橋梁
- 橋梁メンテ
- 橋梁用ゴム支承、伸縮装置
- 空港・入札契約
- 建設契約コンサルタント
- 施工
- 施工・企業経営
- 総合評価入札+維持管理マネジメント
- 宅地開発
- 道路・環境
- 道路・橋梁
- 道路計画
- 都市・地域計画・PPP
- 都市計画 (P2)
- 都市計画、まちづくり、建設業界の再生
- 都市計画・都市整備
- 土木
- 土木（構造）
- 土木・化学
- 土木計画学
- 土木施工管理
- 土木リニューアル
- 福祉のまちづくり、交通計画
- 防災
- 防災・環境
- まちづくり
- 免震、耐震分野
- メンテナンス